

ISACA 福岡支部 設立記念講演会のご案内

基調テーマ：リスク管理志向の IT ガバナンス

～情報セキュリティ、情報システム開発プロジェクト

及び個人情報保護にどう立ち向かうか～

講演会の開催に当たって

ISACA 福岡支部は、2012 年 1 月に国際本部より支部設立に関しての正式な承認が下り、晴れて支部としての活動をスタートすることになりました。今回、支部の設立を記念して、講演会を開催することにいたしました。

昨今、IT を取り巻く環境は日々変化し、リスク管理の重要性が益々高まっています。企業経営には、IT に関わるリスクを常に見極め、適時・適切な対応を取っていくことが求められています。

そこで、本講演会では、IT に携わる方にとって興味深く IT リスク管理の代表格とも言える「情報セキュリティ」、「情報システム開発プロジェクト」及び「個人情報保護」に着目しました。講師の方々には、取り組みの要諦について、実体験や事例を交えていただきながら、ご講演いただきます。リスク管理志向の IT ガバナンスについて、参加者各位のご理解を深めるとともに、共に考える機会にしたいと思っております。

本講演会には、経営者、経営者を支援する方、情報システムの企画・開発・運用・保守業務及びそのコントロール活動に携わる方、そしてそれらの監査やコンサルティング業務に携わる方など、多方面の皆様にご参加をいただきたいと考えております。また、この場が「リスク管理志向の IT ガバナンスとは何か」を考察する上で参考となる情報発信の場になることを願ってやみません。

講演会の後には懇親会を実施いたします。ご参加者の皆様には、講師の方々やご参加の皆様同士をはじめ、ISACA 福岡支部及び東京・名古屋・大阪各支部の関係者と、自由にコミュニケーションを取っていただきたく存じます。また、懇親会が有意義な意見交換の場となり、皆様にとって新たな人脈づくり（～絆～）につながれば幸いです。これまでの ISACA との繋がりの有無や資格の有無に依らず、より多くの方々にご参加いただきたいと考えております。本講演会にご興味のある方をお誘い合わせの上、お気軽にお申込みいただきたいと存じます。

ISACA 福岡支部 設立記念講演会のご案内

開催概要

日時 2012年4月21日(土) 講演会 13:15~17:00
懇親会 17:10~18:30

会場 アクロス福岡(講演:国際会議場、懇親会:大会議室)

住所:福岡市中央区天神1丁目1-1

電話:092-725-9111(代)

交通:地下鉄空港線天神駅16番出口から徒歩約3分

地図:<http://www.acros.or.jp/access/>



主催 ISACA(情報システムコントロール協会)福岡支部

協力 ISACA 東京支部、ISACA 名古屋支部、ISACA 大阪支部

ISACA 福岡支部 設立記念講演会のご案内

後援 (順不同)
 システム監査学会
 特定非営利活動法人 日本システム監査人協会
 福岡 IT コーディネータ推進協議会

定員 100 名

会費 (ISACA 会員、協力・後援団体会員、一般参加者)

一律、講演会費：1,000 円

懇親会費：3,000 円

会費は、講演会の当日に会場の受付にてお支払い下さい。

プログラム

13:00 ~	開場
13:15 ~ 14:55 (100 分)	基調講演 「リスク管理と我が国情報セキュリティ戦略の有り方」 前内閣官房副長官補 西川 徹矢様
14:55 ~ 15:05 (10 分)	休憩
15:05 ~ 15:55 (50 分)	講演 1 「システム更改・統合プロジェクト監査のポイントについて(仮題)」 株式会社 山口フィナンシャルグループ 監査部 検査役 田坂 和彦様
15:55 ~ 16:45 (50 分)	講演 2 「システム監査と個人情報保護」 特定非営利活動法人 日本システム監査人協会 副会長 兼 事務局長 仲 厚吉様
16:45 ~ 16:50 (5 分)	ISACA 国際本部会長の挨拶 (ビデオレター)
16:50 ~ 17:00 (10 分)	ISACA 福岡支部会長の挨拶
17:10 ~ 18:30 (80 分)	懇親会

基調講演、講演 1、講演 2 の時間には、質疑応答も含まれます。CPE：4 ポイント。
 スケジュール等は、多少変更することがありますのでご了承ください。

ISACA 福岡支部 設立記念講演会のご案内

講演概要と講師略歴

【基調講演】:「リスク管理と我が国情報セキュリティ戦略のあり方」

【講演概要】

インターネットは米軍が東西対立の厳しかった「核の時代」に、核攻撃があった時にも耐用性のある通信手段を確保することを目指し開発を始めた。しかし、実際には、1990年初頭に東西の冷戦構造が崩れ核の脅威が減じるとともに、その開発にも民生化の風潮が強く反映し、効率性や使い勝手の良さが強く求められ、その成果としての利便性と有用性は瞬く間に市民に受け入れられるようになり、一部重要インフラ関連のBCP等で関心が持たれたが、全体的には当初の強靱さや耐用性は開発の正面から外れたものになっていたと言えよう。

昨年3.11、その大惨事の中で情報通信、中でもインターネットの持つ機能が大きいに見直された。しかし、併せて、社会インフラとしての根幹的な強靱性というものがより強く求められ、いかなる事態にも本来の機能を発揮するという観点から技術、運用の両面から必要な研究が行われるべきだとの要請が強い。とりわけ、危機管理など非常事態に直面して、端末を始め各種の装備、資機材を駆使できるかは、日頃の訓練、または平常任務時に使い慣れていることが必要であると過去の教訓は如実に物語っている。

もちろん、情報通信分野の発展は、非常事態のみならず、日常的な活動にこそ急激な普及を見せ、企業や官庁などの組織において、ありとあらゆる場面で不可欠なものとして組み込まれるようになり、昨今は企業や組織のガバナンスやコンプライアンスの拡充にまで大いに貢献していると説かれている。しかし、その一方で、最近も、オリンパス事件やAIJ事件、三菱重工やソニーなどのIT絡みの大規模な事件が陸続と続いており、果たして期待されるほどにITは有用なツールとして有効に機能しているのか、機械やシステムに大きく頼るには時期尚早であり、ないしはそこまで熟していないため、解決していないのではないかと考えるべきなのではないかと不安に駆られることがある。

我が国における情報セキュリティ問題の大きな系譜を振り返り、現在における問題点や課題を考えるよすがとしてのお話しをしたい。

【講師略歴】

前内閣官房副長官補 西川 徹矢(にししかわ てつや)様

長年にわたり、主に、警察庁、防衛省、総理官邸において、社会治安、安全保障、危機管理行政に携わり、官庁組織の業務運営及び部内外の多種多様な事件事故とりわけ組織危機管理における得難い実務経験を積んだ。さらに、短期間ではあったが、民間人あるいは弁護士として経験も積んだので、これらの経験を生かして、各種の組織運営上の問題に、現実味のある、かつ実効性の高い解決策を打ち立てたいと考えている。

< 次頁につづく >

ISACA 福岡支部 設立記念講演会のご案内

<略歴つづき> 西川 徹矢(にしかわ てつや)様

昭和 41 年 3 月 大阪府立山本高等学校卒

昭和 47 年 4 月 京都大学法学部卒業

同 41 年 4 月に都市計画を勉強すべく同校工学部交通土木学科に入学したが、3 年次に「困っている人に直接手を差し伸べる仕事がしたい」と法学部に転じ、法律学を勉強し、甲種国家公務員試験に合格。更に分野を広げたいと考え、同年司法試験に合格。

昭和 47 年 4 月 **警察庁**に入庁

警視庁神田警察署長(昭和 54 年)、同第三機動隊長(同 55 年)、在マニラ日本大使館一等書記官(同 58 年)、警察庁捜査第一課・会計課理事官(同 61 年)、警視庁捜査第二課長(平成元年)、同刑事部・防犯部参事官(同 3 年)、和歌山県警察本部長(同 5 年)、警察庁情報通信企画課長(同 7 年)、新潟県警察本部長(同 10 年)を経る間に、数々の事件捜査、危機管理、行政施策、組織運営を行う中で、各分野において折りに触れ新たな局面を含む事象に積極的に取り組む。

平成 11 年 5 月 **防衛庁(省)**に勤務

防衛審議官(運用局担当)を皮切りに、防衛参事官(IT、施設、環境担当)(平成 12 年)、運用局長(同 14 年)、人事教育局長(同 16 年)、官房長(同 17 年)として勤め、この間、国際テロ対策、イラク派遣、サイバー攻撃を含む情報戦対策、防衛庁の省移行等各種の業務に関わり、組織運営、国会対応等に取り組み、平成 19 年 9 月退官

平成 19 年 12 月 明治安田生命相互保険会社 顧問就任

平成 20 年 4 月 毎日新聞主催だいじょうぶキャンペーン 副会長就任

平成 21 年 2 月 NPO 宇宙利用を推進する会 理事長就任

平成 21 年 5 月 弁護士登録(第一東京弁護士会)

平成 21 年 8 月 **内閣官房副長官補**に就任 (なお、上記 4 所は公務就任につき辞任)

安全保障、危機管理担当として、総理官邸にて防衛大綱・中期防衛力整備計画の策定、東日本大震災等多くの危機管理事案対処に取り組み、同 23 年 8 月退官

平成 23 年 11 月 株式会社損保ジャパン 顧問就任

平成 23 年 12 月 弁護士登録(第一東京弁護士会)

その他の職務・活動

- ・南紀白浜(平成 8 年)・越後湯沢(同 10 年)に IT セキュリティ関連のシンポジウム、ワークショップの立上げに参画し、現在も関与
- ・NPO デジタルフォレンジック研究会に理事又はオブザーバーとして参画
等 IT 関連の関連企業・団体とのコンサル活動及び一般企業コンサルタント活動

その他和歌山大学、新潟大学、慶應大学、情報セキュリティ大学院大学、公益法人等で非常勤講師や

ISACA 福岡支部 設立記念講演会のご案内

講演活動を実施

【講演 1】:「システム更改・統合プロジェクト監査のポイントについて(仮題)」

【講演概要】

金融機関のコンピューターシステムは、決済システムの中核をなしており、社会インフラとして公共性が高く、システム更改・統合には大きなリスクが伴います。

このようなプロジェクトを問題なく進めるには、内部監査部門の果たす役割が重要です。

本講演では、実際にシステム更改・統合プロジェクトの内部監査を担当された講師から、プロジェクトのフェーズ毎の監査ポイント等を語っていただきます。

【講師略歴】

株式会社 山口フィナンシャルグループ

監査部 検査役 田坂 和彦(たさか かずひこ)様

公認情報システム監査人(CISA)、システム監査技術者

1980年4月 山口銀行入行。システム部門で約18年半従事した後、2003年4月に監査部門に異動し、システム監査担当として従事。

2006年10月の山口フィナンシャルグループ設立に伴い、山口フィナンシャルグループ監査部兼務となり、現在に至る。

【講演 2】:「システム監査と個人情報保護」

【講演概要】

個人情報保護法が施行されて久しいですが、未だに、個人情報の漏えい、滅失又は、き損などの事故・事件の報道が少なからずあります。

組織体が法令順守のため適正な個人情報保護を行うことに資するために、個人情報を取り扱う情報システムの開発、保守及び運用におけるシステム監査のチェックリストを例示し、システム監査の視点から個人情報保護についてお話いただきます。

【講師略歴】

特定非営利活動法人 日本システム監査人協会

副会長 兼 事務局長 仲 厚吉(なか あつよし)様

公認システム監査人(CSA)、システム監査技術者

一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)プライバシーマーク主任審査員

同プライバシーマーク審査員養成研修講座 元講師

大阪大学工学部卒、カリフォルニア大学バークレイ工学修士

製造業及びセキュリティのシステム構築及び監査並びに内部統制のIT統制監査に就業。

ISACA 福岡支部 設立記念講演会のご案内

参加申込み方法等

下記の要領にてメールに下記の出欠連絡送付先までお知らせください。

出欠連絡先

ISACA 福岡支部事務局（理事一同）

E-Mail : info@isaca-fukuoka.org

メールの件名：ISACA福岡支部 設立記念講演会の申し込み

出欠連絡の内容

下記に記載のうえ、メールにそのまま添付してください。

----- < 出欠報告の内容 > -----

ISACA 会員：××支部 会員番号：××××（半角でご記入下さい）

ISACA 会員以外：後援団体名または所属：××××

氏名：

TEL：

* 特別な事情により記念講演会の開催を中止せざるを得なくなった
場合等に、通知可能な緊急連絡先をご記入ください（任意です）。

ISACA 福岡支部 設立記念講演会に 出席 ・ 欠席 します。

懇親会に 出席 ・ 欠席 します。

申し込み締め切り：4月15日（日）

以 上